# 交通安全ニュース

（一社）滋賀県トラック協会　安全環境委員会

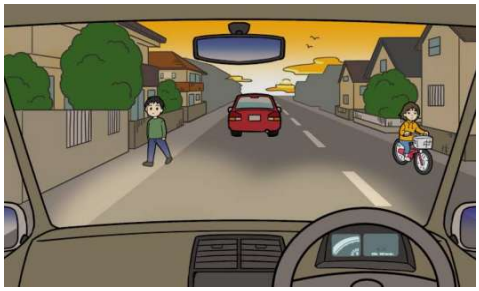
令和　8年11月

第188号

## 早めのライト点灯と事前の冬支度で、繁忙期の輸送安全を徹底しよう

### 1．薄暮時・夜間における歩行者および自転車との事故防止

秋が深まる11月は16時台から急速に暗くなります。視界不良による見落とし事故を防ぐ指導を強化します。



- **早めのヘッドライト点灯（「おもいやりライト」の実施）**
  - **指導内容**：「まだ明るい」と感じる16時頃からライトを点灯させ、周囲（歩行者・対向車）に自車の存在を早期アピールする。
- **ハイビーム／ロービームのこまめな切り替え**
  - **指導内容**：対向車や先行車がいない暗い道路（郊外や幹線道路）では積極的にハイビームを活用し、横断歩行者を早期発見する。
- **交差点での「右左折時の安全確認」徹底**
  - **指導内容**：無灯火の自転車や、道路を横断する高齢歩行者の見落としを防ぐため、交差点手前での確実な徐行・一時停止を行う。

### 2．大型車の車輪脱落事故防止＆冬道走行準備

冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）への交換作業が集中する11月～12月は、大型トラックの車輪脱落事故が最も多発する時期です。



- **タイヤ交換作業のルール遵守と増し締め（増し締め点検）の徹底**
  - **指導内容**：整備管理者指示のもと、適正トルクでの締め付けを行い、「交換後50km～100km走行後の増し締め」を記録・徹底する。
- **日常点検でのホイールナット・ボルト確認**
  - **指導内容**：運行前点検時にチェック清掃（サビ・変形の確認）、ナットの緩み（清掃・打音点検等）を必ず実施する。
- **早めの冬道装備の確認**
  - **指導内容**：突発的な降雪・凍結に備え、チェーンの携行・状態点検、不凍液やウォッシャー液の補充を完了させる。

### 3．年末繁忙期に向けた過労運転・健康起因事故の防止

11月中旬からは全日本トラック協会主催の「正しい運転・明るい輸送運動」がスタートし、荷物量が増加する繁忙期に入ります。



- **点呼の徹底と体調・睡眠の確認**
  - **指導内容**：点呼時にアルコールチェックだけでなく、睡眠不足や疲労蓄積の有無を対面・機器で厳密に確認する。
- **「ながらスマホ」「脇見運転」の根絶**
  - **指導内容**：配送遅延を気にする焦りからくるスマホ操作・ナビ注視を厳禁とする。
- **荷役作業時の安全確保**
  - **指導内容**：繁忙期特有の荷卸し事故を防ぐため、ヘルメット・安全靴の着用、プラット




ご協力ありがとうございました。